



チャレンジ 資金仲介/資金決済

1 考えてみよう

当面のあいだ使う予定のないお金が10万円あります。そのお金を貸すとしたらあなたなら、どのような場合に貸しますか。(複数選択可)

- 借書を書いてもらう場合。
- 1%の利息を付けて返してもらう場合。
- 使用用途が明らかな場合。
- 返済時期が1ヶ月以内の場合。
- 必ず返してくれると思える場合。
- 貸出額が1万円だけでよい場合。
- 代わりに友人のアクセサリーやゲーム機を借りる場合。

2 考えてみよう

自動車メーカーAは、部品を仕入れている企業Bに、今月末に1,000万円を支払います。現金で届けるとすると、それぞれの作業手順で、どのような心配があるでしょう。

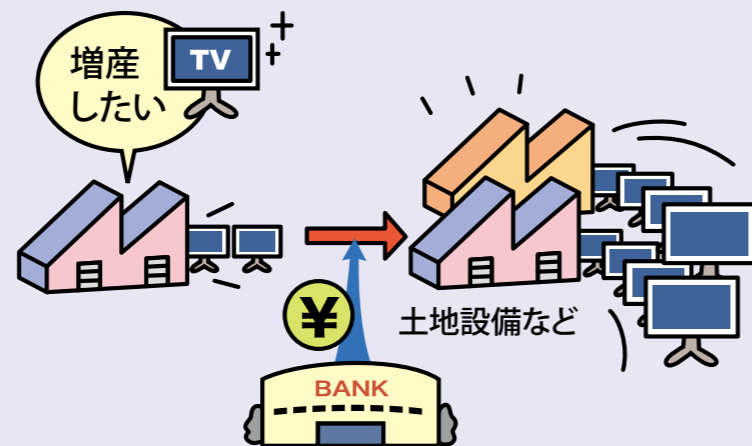
| 手順 | 作業内容 | 心配なこと |
|----|-------------|-------|
| 1 | 銀行から現金を持ち帰る | 強盗・紛失 |
| 2 | 紙幣を数える | 数え間違い |
| 3 | A社で現金を保管する | (ア) |
| 4 | 現金をB社へ運ぶ | (イ) |
| 5 | B社が受け取る | (ウ) |

3rd ステージ

世の中のお金の動きを見てみよう。

銀行の機能・役割

人生の第3ステージの社会人生活へ。社会人になって、経済活動になくてはならない銀行の役割を実感しているはずです。特に、銀行の三大業務の一つである「貸出」が企業活動や公共事業に関係していることを理解しましょう。



チャレンジ 信用創造

1 計算してみよう

AさんはX銀行の預金口座に現金10万円を預けました。X銀行は、そのうち9万円をBさんに貸し、Bさんの預金口座に入金します。Bさんは借りた9万円を通販で買ったDVDプレーヤーの支払にあて、Y銀行のC社の口座に振り込みます。Y銀行はC社の預金9万円のうち、8万円をさらにDさんに貸し、Dさんの預金口座に入金しました。

この結果、最初はAさんの手元の現金10万円だけだったものが、全体でいくらになったでしょうか。各自が現在持っている預金を足し上げて算出してください。

| | 現在預金されている額 | そのうち貸し出された金額 |
|-----|------------|--------------|
| Aさん | 10万円 | Bさんを経て 9万円 |
| C社 | (ア)円 | (イ)円 |
| Dさん | (ウ)円 | — |
| 合計 | (エ)円 | (オ)円 |

家計、企業、国・地方公共団体で お金の大きな流れを形成

3-1

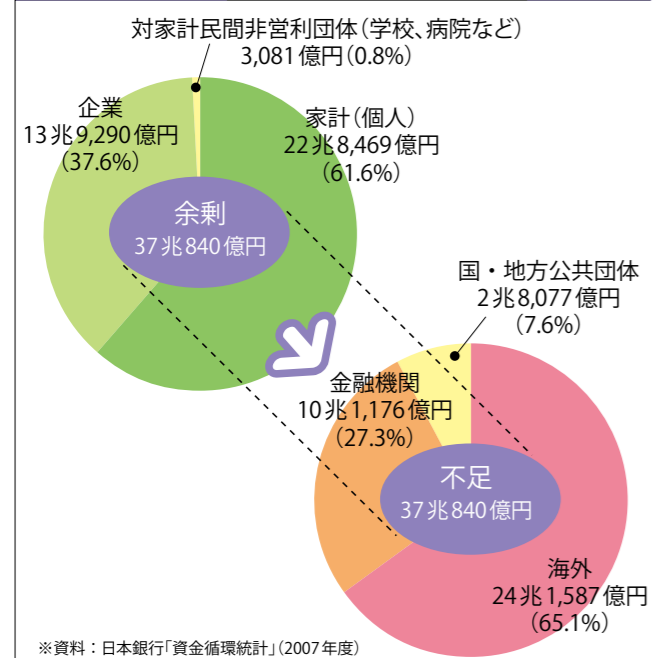
さあ、社会人になって受け取った給与をあなたはどのように使いますか。

会社勤めをしている場合は、給与から所得税、住民税、社会保険料、雇用保険料などが差し引かれ、残りの金額を受け取るようになります。そしてあなたはそこから住宅費、光熱費、電話代、衣料費、食費、交通費などの必要な支払をすることになります。

つまり、企業から家庭（家計）へ渡された給与は、国や地方公共団体へ税金として、また他の企業にモノやサービスの対価として受け渡され、さらに国や地方公共団体からは公共工事や福祉などの目的で企業や家庭へ資金が流れます。このように国全体の大きなお金の流れは、家計、企業、国・地方公共団体によって作られており、これら三者を**経済三主体**といいます。

資金の過不足

図3-1



金融とは資金を必要とする人へ お金を融通すること

— 資金仲介機能

3-2

家庭では、医療費などの突然の出費や将来の支出のために貯蓄していることが多く、家計全体を見ると、お金が余っている（資金を必要とする者へ資金を供給することができる）状態にあります。

一方、企業や国・地方公共団体には、設備投資（工場建設や製造機械購入など）や公共工事などのために多額の資金需要があることから、一般的にはお金が不足している状態にあります。

銀行はこのような両者の間に立ち、預金として預けられた余剰

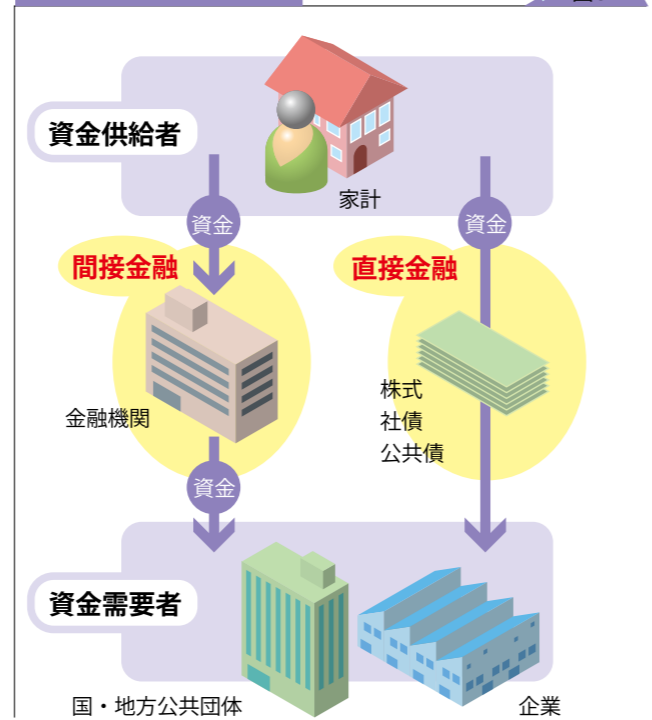
資金を、資金を必要とする者へ貸し出す橋渡しの機能を果たしています。このようにお金を融通することを**金融**といい、特に資金の貸し手と借り手の間に立って銀行などが資金を仲介してお金を融通することを**間接金融**といいます。

もしも銀行がなければ、期間や金額といった条件においてそれぞれニーズが異なるお金の貸し手と借り手を組み合わせることが困難になってお金が回らなくなるので、企業活動や公共工事が滞るおそれがあります。

なお、間接金融に対し、企業が株式や社債、国・地方公共団体が国債や地方債（公共債）を通じて資金を家計などから直接集めることを**直接金融**といいます。

間接金融と直接金融

図3-2



銀行は預金を貸し出して 社会全体のお金を増やしている

— 信用創造機能

3-3

皆さんが銀行に預けたお金は、どこへ行くのでしょうか。そのまま金庫に眠っているわけではありません。

預金は企業や国・地方公共団体へ貸し出されます。もちろん家計へも住宅ローンやクレジットなどの形で貸し出されますし、銀行どうしても貸し借りをしています。

銀行に預けられたお金はいつせいに引き出されることはないため、預金は必要な分を残して貸出にまわすことができるのです。預金した人も、貸出を受けた人も、その金額分を使用できるようになりますから、世の中のお金は貸し出された分だけ増えることになります。

たとえば100万円の預金に対し、引出しに備えて1割残す（支払準備金）とすると、90万円を貸し出すことができます。貸し出された90万円は経済活動で使われて他の人に渡ります。その人が90万円を預金すると、この時点で預金は190万円あることになります。預けられた90万円は、さらに1割を残して貸し出されていきますから、これを繰り返して最終的には100万円の預金が1,000万円の預金となります。

これは経済社会を円滑に機能させる銀行の重要な役割で、銀行の**信用創造機能**といいます。

信用創造のしくみ

図3-3

| | 預金 | 支払準備 | 貸出 |
|------|-------|------|------|
| A 銀行 | 100 | 10 | 90 |
| B 銀行 | 90 | 9 | 81 |
| C 銀行 | 81 | 8.1 | 72.9 |
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| 合計 | 1,000 | 100 | 900 |

- ① A銀行は100万円の預金を受け入れる。A銀行は1割を支払準備のために残し、90万円を企業Pに貸し出した。
 - ② 企業Pは商品の仕入れ代金90万円を企業Qの取引銀行であるB銀行の口座に振り込んだ。
 - ③ B銀行は企業Qの口座に振り込まれてそのまま預金されている90万円の1割を残し、81万円を企業Rに貸し出した。
 - ④ 企業Rは81万円を、企業Sに支払うため、企業Sの取引銀行であるC銀行の口座に振り込んだ。
- このように、100万円の預金は最終的に1,000万円の預金を創り出すことになる（支払準備が1割の場合）。

世の中のお金のやり取りを 安全・確実・スムーズに

— 資金決済機能

3-4

モノやサービスの売買をすると、売った人に代金を受け取る権利（債権）が、買った人には代金を支払う義務（債務）が生じます。代金の受け払いをして、この債権と債務を消滅させることを**決済**といい、銀行では振込や手形・小切手などを使った**資金決済**を行っています。

一般に、企業間の取引による資金の移動は多額なことが多いため、現金ではなく預金からそのまま振り込んだり、手形や小切手などが使われたりしています。

もしも銀行がなければ、企業は支払のための多額の現金を何度も数え、数人で運んでいき、その間に奪われないように警備もしなければなりません。受け取る企業の側でも数え直して、安全に保管しなければなりません。ふつう企業は、多くの企業と取引（仕入れと販売）していますから、毎月の支払と受取だけで膨大な手間と費用がかかります。

銀行の資金決済機能は、そのような受け払いの時間と労力を大幅に節約する重要な機能です。

約束手形・小切手は 主に企業の支払手段

商品の代金を仕先に支払う場合、会社は現金や銀行振込のほか、相手の了解のもとに**約束手形**という有価証券を交付（振出）しておいて、代金を後払いにすることができます。また、銀行に持ち込めばすぐに現金と引き換えられる小切手も企業の支払手段として使われています。

約束手形や小切手は、支払側の会社（振出人）の信用を利用したしくみで、法律によって制度化されています。

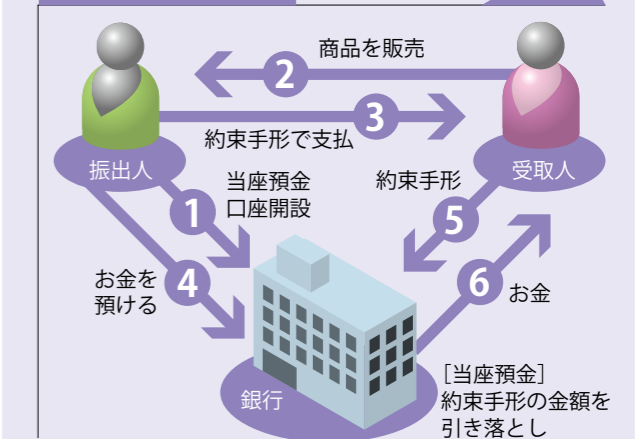
約束手形や小切手を振り出すためには銀行に当座預金口座を開設することが必要です。当座預金とは主に会社や自営業者（個人事業主）が小切手や手形の支払をするための預金で、法律で無利子と決められています。

★手形・小切手のメリット

- ① 支払用のお金を現金で用意しなくてよい。
- ② お金を数える手間がない。
- ③ どれほど大金でも1枚で済む。

約束手形のしくみ

図3-4



※全国銀行協会では、手形・小切手について詳しく解説しているパンフレット「動物たちと学ぶ 手形・小切手のはなし」を発行しています。HPからお申し込みください（P25参照）。



- 経済三主体とは、家計、企業、国・地方公共団体を指す。
- すぐには使われないお金を、必要とする人へ橋渡し（資金仲介）するのが銀行の役割。
- 「預金者→銀行→借り手」のお金の流れを間接金融という。
- 信用創造とは、預金を貸し出すことで、世の中のお金が増えていくこと。
- 各種支払（資金決済）は、銀行がなければ膨大な手間と費用が必要。